

ビジネスに役立つ厳選ソフト

プロアトラスは、使いやすさで定評のあるアルプス社が作ったCD-ROM版地図。すでに首都圏、東海、近畿版や、東京23区の航空写真を収録した「プロアトラス東京23区空撮版」などが発売されている。今回紹介するのは、その他の地域版（『中国・四国・九州・沖縄』『東北・北海道』の2種類）。

電子地図の魅力は、ズバリ検索スピードにある。目的地をパソコンに打ち込めば、瞬時に画面上に目的地が表示される。たとえば、あなたが長崎県のテーマパーク「ハウステンボス」を訪れることになったとしよう。

プロアトラス地域版

5800円(税別) / アルプス出版社

ネットと連動し天気予報もわかる万能地図

「ハウステンボス」とキーワードを入力して検索ボタンを押すと、ハウステンボスという語句を含む項目が4つ表示される。そして「地図表示」というボタンを選択し、クリックすると、瞬時に7万分の1縮尺の地図が現れる（縮尺は変更可）。

インターネットと連動した情報サービスが受けられるのも特徴の一つ。なかでも便利なのが「アメダス気象情報」。「今日の天気」「明日の天気」「その日の3時間おきの天気」などが調べられ、地図上に晴れや雨などのマークが表示される。

このほか、「プロアトラスフォー



◀地図上のさまざまな施設等のホームページへもリンクできる

ラム」というサイトには、このソフトの利用者がおすすめ情報を投稿する「クチコミ地図情報」というコーナーがあり、クルマで行く場合の抜け道や、地域のうまいもの屋などを紹介している。ドライブ前には是非ともチェックしておきたい。

(矢部文隆)

さくらさくらWORLD

<http://hp.vector.co.jp/authors/VA014135/>

(^o^)や(^_^;)のことなら、おまかせ!

者らによって、すでに2000種以上ものフェイスマークが生み出されているのだ。このサイトでは、そんな大増殖した顔文字をネット上から収集し、それらの意味を一挙公開している。m(._.)m [両手をついて謝る] やd=(^o^)=b [親指を立ててイエーイ] など広く使われるものから、(^_^)/□☆□\(^_^) [向かい合ってカンパイ] などの上級テク(?)の紹介もあって楽しい。

また、意味を入力すると、顔文字に変換してくれる「顔文字辞書」も用意されている。これさえダウンロードすれば、たとえば「いえい」と打つだけで、v(^o^)[ピース]

<http://hp.vector.co.jp/authors/VA014135/kaomoji.htm>

顔文字	意味
(^o^)	ニコニコ笑っています。
(^_^)	真顔です。見つめられています。
(T.T)	号泣しています。目から涙が流れます。
(;_;	しくしく泣いています。涙の粒が。
(^^)	ひやあせをかいています。あせ。
(^^)	顔をかいて、てれています。

が即座に出てくるってワケだ。

サイトには、月に50~70個もの顔文字の投稿があるとか。その中からサイト作者の「さくらさくら」さんが選んだイチオシは、(Y)○¥○(Y) [バルタン星人]。たしかに、そう見える。顔文字おそるべし。

(薦加す)

◀皆サン、いくつ()存知ですか!?

GENDAI インターネット探検隊

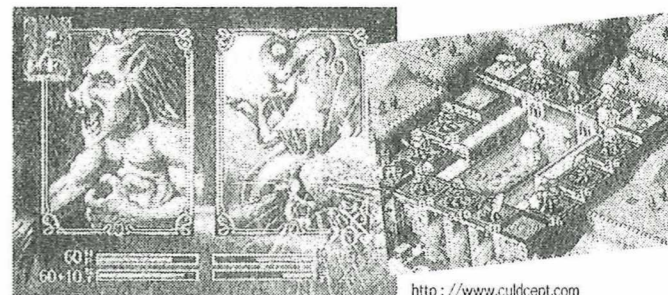
電子メールのメッセージにやたらと登場する(^o^)や(^_^;)などのマーク。実は、これは顔文字またはフェイスマークといわれ、感情などを表すマーク。ちなみに(^o^)は[ニコニコ笑っている]で、(^_^;)は[冷や汗をかいている]。たしかに電子メールを書く際に「いやあ、この前は心配かけちゃったね(^_^;)」なんて、さりげなく使うと愛嬌があるかも。

まあ、文末に(笑)と書くのと同じか。と思ったら、さにあらず。その種類がハンパじゃない。なんと愛好

大人のための「遊びソフト」講座

カルドセプト エキスパンション (ボードゲーム) (プレイステーション)

発売中 / 5800円(税別) / メディアファクトリー



◀セガサターン版カルドセプトに新たな仕掛けを追加。詳しくは左記URLの公式ホームページへ

数々のギャンブル小説の傑作を残した阿佐田哲也は、博打打ち専門の遊戯・手ホンビキのことを「遊びの桃源郷」と評した。「数々の博打をやってきた男たちの終着点」とも。昔のヤクザ映画で高倉健なんか粋な着流しの襟元で花札をチョキチョキしてたあの遊び——手ホンビキとはさほどに魅惑的で魔性の遊びらしい。

ではテレビゲームの世界で、そんな「桃源郷」「終着点」と呼べるようなソフトを探してみると、このゲームにたどり着く。今回紹介するのは『カルドセプト エキスパンション』。ゲーム雑誌の編集長、ゲーム開発者、ゲームショップ店員、そうした玄人筋の人々はこのゲームのことを愛してやまない。まさにゲームジャンキーたちの終着点だ。

過激なモノポリー

『カルドセプト エキスパンション』の基本は「モノポリー」だと思ってもらっていい。コマがあって、ダイスを振って、マスを中心する。途中に自分の陣地をつくり、そこに敵が止まったら通行料がもらえる。ルールはいたってわかりやすい。だが、その「モノポリー」にさらに遊びのコクを盛り込んであるので『カルドセプト エキスパンション』は凄みを帯びたソフトとなる。

このゲームで重要な役割を果たすのはカードである。ゲームの中でプレイヤーは50枚のカードを持っていて、それを土地(マス)に配置する。つまり決められた土地を購入するのが「モノポリー」だが、『カルドセプト

エキスパンション』は更地を自分で開拓する感覚に近い。どんな発展をさせるかは、カードの置き方次第。さらにカードは他人の土地を奪うときにも使う。「モノポリー」では敵の所有地に止まったら最後、黙って通行料を支払うしかない。けれど『カルドセプト エキスパンション』では一発逆転を狙ってカードとカードを対決させ、敵の土地を奪取することができる。かなり強引な地上げもできるというわけだ。この攻防が熱い。ようするに『カルドセプト エキスパンション』の基本は過激な「モノポリー」なのである。

で、そこで使うカードの機能はいろいろあって、配置に使うもの、戦いに使うもの、移動に関するもの、金銭に関するもの……ときまじだ。これらはすべてRPG(ロールプレイング・ゲーム)的な意味づけがされており、各カードには一長一短の個性がある。RPGにはよく「水

に強いが火に弱いモンスター」などが登場するが、そういった設定がカードに与えられているのだ。

実際、このゲームのプレイヤーは強烈なジレンマに襲われる。攻撃力優先でいくか、守備を重視するか。確実に稼ぐか、ハイリスク・ハイリターンを狙うか。目先の勝利か、長期戦で有利な展開に持ち込むか。

ダイスの目は偶然だが、そのダイスの目の前後に切るカードは、プレイヤー自身の判断による。さて、その場面でカードをどう使うかが、このゲームの本当の勝負どころだ。過激なモノポリーとRPG的ジレンマ。普通なら結びつかない両者の融合を見事にやってのけてしまったのが『カルドセプト エキスパンション』なのだ。これほどやっていて恍惚感を感じるゲームも珍しい。深い、されど遊びやすい。ゲームとはこうあるべき、というお手本のようなゲームだ。(平林久和)